

平成30年度第9回川崎町議会（3月定例会議）一般質問通告一覧表
その1

議員名	件名	要旨
1 樋口 秀隆	雨季を想定して今から備えを始める。 水災害予防は緊急の課題、治水は行政の大きな役目	<p>昨年7月初めの水災害から7カ月、今年の冬の異常な暖冬を考えると、6月、7月の雨季も昨年同様の異常雨量を予測しておく必要があると考える。</p> <p>よって、吉原町から本町、櫛毛にかけての冠水被害への対策は十分に施しておくことが肝要なのではないか。</p> <p>5年ほど前、鉦害事業団の河川復旧予算が事業の継続のため県に預けられたと聞いた、この内容は把握しているか。</p>
2 谷口 武雄	人口推移について (町長)	<p>平成31年度から平成35年度までの5年間で世帯数290、人口1,580名の減とのデータもでております。さらに平成35年度以降、高齢化が進み人口減少が進んでいくと思います。</p> <p>人口減少を抑える施策をお尋ね致します。</p>
	健全財政について (町長)	<p>川崎町は過去、地方債192億円となる借金を抱え、赤字再建団体に落とすか、財政健全化対策を取るかの時代がありました。平成13年から17年までの5年間、経費削減によって再建ができました。以来、平成29年までは町債も120億程度に減少しておりました。</p> <p>しかし、平成30年、31年になると統合中学校の建設を含め、町債が約150億円まで拡大する見込みです。</p> <p>川崎町の将来像をお聞きします。</p>
	ヘルプマークとカード配布を (町長)	<p>外見では分かりづらい内部障がい者達が、周囲に自分が援助を必要としていることを知らせるヘルプマークとヘルプカードを導入し、周知徹底をしてはどうですか。</p> <p>(小中学校等に啓発ポスターを掲示)</p>
3 松岡 久代	ドローンを導入し、活用のお考えは	<p>4～5年前迄はドローンは危険なもの、テロにも使われる可能性があるため、規制をかけなければと認識されていましたが、現在では安価に購入することができ、行政も注目しているのではと思いますが、町長の考えを問う。</p>
	人口流出の原因を問う	<p>消費税10%に伴い保育料の無償化が問われています。3歳以上児で国が1/2、県が1/4、自治体が1/4となっています。公立は全部が自治体負担となっていると思います。</p> <p>大任町、田川市は、いち早く無償化を打ち出しています。保育所は広域化ができるのに対し、町長のお考えを尋ねる。</p>

平成30年度第9回川崎町議会（3月定例会議）一般質問通告一覧表
その2

議員名	件名	要旨
4 櫻井 英夫	川崎町総合計画について (町長)	平成27年度から31年度までの5カ年の計画が満了するが ① 総括としての所見を求める。行政運営の活性化は実現できたか。 ② 計画を切れ目なく推進するため、第6次計画策定を31年度中に完了させる必要があるが、事務スケジュールはどうなっているか。 ③ 総合計画を具体化した総合戦略、その目標値への到達率はどの位か。戦略期間は31年度までだが、それ以降はどうするのか。 ④ 国の統計調査不正発覚で騒ぎになっているが、国からの委託で行われる各種基幹統計調査結果は、本町の政策や計画立案に活用できているか。町勢要覧の資料編は整備されているか。
	統一地方選挙について (選挙管理委員長)	① 平成27年9月の一般質問で、選挙投票通知書を集める手配師の存在と、その対策について指摘したが、それ以後対処されたか。 ② 議員のなり手不足が懸念されているが、選挙スタイルが旧態依然としており、その負担感から二の足を踏むのではないか。誰もが出馬しやすい選挙環境を整えるべきではないか。例えば公設掲示場へのポスター貼りを公費で、公開討論会を選管が開催など。
	教育改革について (教育長)	① 機関委任事務は平成11年に廃止されたと言われるが、教育行政はいまだにその気分が抜けていないのではないか。本町の教育改革、町の独自性発揮はどうあるべきか。田川の中高一貫校のその後は？ ② 人生100年時代の社会教育、生涯教育への対応はどうか。町民のボランティア精神醸成は、どの部署が担っていくのか。 ③ 鍛ほめ福岡メソッド運動を町民全体に広げるべきではないか。
	国際化対応について (教育長・町長)	① 児童・生徒の国際化教育への本町の環境はどうなっているか。 ② ルーマニア・ブレアザとの国際交流が途絶えてから代替策がないが、どうするのか。何もしなくていいのか。外国人旅行者観光誘致で新しい需要を掘り起こすべきではないか。 ③ 外国人居住者の実態把握はできていますか。彼等との町民の交流事業の有無と、その現状は。

平成30年度第9回川崎町議会（3月定例会議）一般質問通告一覧表
その3

議員名	件名	要旨
5 手嶋 真由美	災害時用備蓄品について	① 防災センターの現在の備蓄品は。 ② 備蓄品の点検や、備蓄食品の有効期限の管理状況は。 ③ 備蓄食料の入れ替え時の食品の活用法は。 ④ 指定されている避難所の備蓄品は今後、備えていくのか。
	DV・ストーカー被害の対応について	① 本町での、DVやストーカーについての相談窓口は。 ② 住民の方からストーカー行為についての相談があった時、窓口ではどういう対応をしますか。 ③ 緊急で転居を要する場合や、団地に入居する際には特別措置はないのか。
	定住促進への取り組みについて	① 本町の定住促進を図る取り組みは。 ② 町外から新築の家を建てて転入された方や、中古の家を購入し転入された方の固定資産税の減免措置を。 ③ 魅力あるまちづくりの一つとして、制服リユース事業やランドセル仲介事業の展開を。
6 繁永 英樹	生活弱者に対する下支えの体制づくりについて問う (町長)	朝食を食べない状況にある子どもたちの食育を支える政策を伺いたい。
	災害時の障がい者対応と日常の支援について問う (町長)	障がい者福祉計画や災害時のマニュアルが適切に運用されているかを問う。
	教育財源やスポーツの育成のあり方について問う (教育長)	基金を切り崩して行った教育政策の成果、夢へ向かい努力を重ねる子どもたちへの支援体制を問う。
7 寺田 響	教育施策について (教育長)	就学前において、保育所や幼稚園が中核となって家庭や地域社会とともに幼児教育を総合的に推進していくためには、既存の保育所・幼稚園の枠組みを超えた一層の連携が必要です。 子どもの発達が連続していることを踏まえれば、保育所・幼稚園と小学校が相互に教育内容を理解し、各施設で広い視野に立って幼児・児童に対する一貫性のある教育を提供し、支援していくことが重要であると考えます。 就学前教育について教育長の考えを伺います。

平成30年度第9回川崎町議会（3月定例会議）一般質問通告一覧表
その4

議員名	件名	要旨
7 寺田 響	空き家対策について	<p>居住者や管理者がおらず放置されている空き家の増加が、本町でも問題視されています。空き家であっても、比較的キレイな状態で新しい住人が見込める場合や、定期的に管理する人がいる場合などは今のところ問題にはなりません。</p> <p>問題となるのは、管理できなくなって放置された空き家です。空き家活用応援ガイドブックを作成し、川崎町空き家バンクが開設されていますが、現在までの実績と今後の方針を町長に伺います。</p>
	耕作放棄地について	<p>本町の耕作放棄地が増加している主な原因として、農業者の高齢化や後継者不足による農業人口の減少が挙げられます。農業を行う人がいなくなり、土地が放置されるケースがほとんどです。</p> <p>本町の取り組みで耕作放棄地（田んぼ）の受託体制は整いつつあると感じていますが、耕作放棄地（畑）の対策について、町が把握している耕作放棄地の面積と町長の考えを伺います。</p>
8 千葉 加代子	行政区の清掃について	<p>① 組によっては、掃除に出ないと罰金を納めるところがあるようですが、どのくらいの組が罰金を徴収していますか。</p> <p>② 80歳を超え、身体が不自由な場合でも強要されるケースがありますが、実態把握されていますか。何らかの対策は取れませんか。</p> <p>③ 事故等が発生した場合、町としての保障制度はありませんか。</p>
	町おこしのための政策	<p>① パン博を実施しないという事ですが、原因は。</p> <p>② 地域おこし協力隊の今後は。</p> <p>③ 振興のための政策は。</p>
	虐待、DV 対策について	<p>① 本町の実態は。</p> <p>② 子どもの権利条例との関連は、実効性のあるものになっていますか。</p> <p>③ 朝食欠食の家庭への指導は。</p> <p>④ 関係機関との連携は取れていますか。</p>